

令和5年8月7日

議事録作成者：事務員（アシスタント）佐藤美樹

令和5年度 第2回在宅医療・介護連携推進業務運営会議（議事録）

日 時 令和5年7月27日（木）13時30分
場 所 日本海総合病院 ミーティングルーム
出 席 者 第2回在宅医療・介護連携推進業務運営会議 出席者名簿のとおり
議 事 以下のとおり

1 開会

2 報告

1) 研修会について開催報告（在宅医療・介護連携支援室ポンテ）

①医療サポート研修会

- 第1回5月26日（金）について、資料1で報告。
- 第2回6月29日（木）について、資料2で報告。
- 第3回7月25日（火）について、資料3で報告。

②人的資源活用研修会

- 6月30日（金）訪問研修について、資料4で報告。
- 8月30日（水）に感染症、9月15日（金）に認知症の訪問研修を予定している旨を説明する。

2) 医療と介護の合同研修会について（在宅医療・介護連携支援室ポンテ）

- ケアマネジャー連絡協議会から日本海総合病院入退院支援センターとの研修をしたいと強い要望を受け、8月1日（火）合同研修会を開催することを資料5にて説明した。

3) 他団体からの研修会情報提供（在宅医療・介護連携支援室ポンテ）

- 9月7日（木）山形県難病相談支援センター主催の神経難病医療講演会・個別相談会についてポンテホームページの研修会カレンダーに掲題したが、資料6にて説明した。

3 その他

1) 各参加団体より

- （酒田市高齢者支援課）

地域包括支援センター全体会～ポンテと包括との情報交換会～（令和4年11月21日（月）実施）について、資料7により情報提供された。

【意見交換】（敬称省略）

（大内） これまでもポンテと地域課題について話し合ってきた。全体会でポンテと包括を交えて、地域課題を抽出してきた。昨年まで医師会にポンテがあったが、その段階で今年度の取り組みは全体会での課題をベースに検討していくという話だったが、引継ぎはなされているか。

（佐藤由枝） 具体的内容は確認していない。話し合いの必要はあると思っていたので資料を熟読したい。

（大内） 全体会での課題は包括からでたものであるが、連協さんや庄内町、それぞれの地域で課題があれば、みんなでどう取り組んでいくか運営会議で考えていければいいと思う。

（佐藤由枝） 全体会は何人くらい参加しての意見なのか。

（大内） コロナで人数制限があったので、事前に包括で意見をまとめて、代表に出席してもらう形を取った。包括全体の意見というところでは合意は取れていると思う。

（大内） 連協さんや庄内町では何か課題はあるのか聞きたい。

（菅原） 連協として地域課題を抽出する機会がそんなにない。おそらく個々に思うところがあると思うが、包括さんに相談しながら対処している。抽出する場を設ければ、それぞれの施設形態によって特色が出てくるかと思う。

（佐藤敦史） 庄内町では、「自立支援型地域ケア会議」を開催して、ケアマネジャーから事例提供を聞く機会を設けている。昨年度、庄内町で開催した在宅医療介護連携の職種連携研修会では、専門的な知識を学ぶ機会があった一方で、グループワークができなかったのでお互いの顔が見える関係性づくりに至らなかった。

（碓谷） 北庄内にはいろいろな病院があって、病院の入退院センターだけでなく連携・対応は一定でなければならぬと思う。日本海総合病院の入退院支援センターだけでなく、他の病院との連携も、ポンテを通してみんなで考えていく必要があると思う。ポンテは日本海総合病院だけのものではなく、北庄内地域の医療と介護の連携支援をしてほしい。また、開業医さんや精神科のお医者さんは予約がないとすぐに見てもらえないなど課題があるので、みんなで協議して、来年度に繋げていければと思う。研修会の開催は勉強になるが、ポンテは研修会をするだけでなく、介護と医療の連携という面をもっと深めてほしい。

（佐藤由枝） 病院機構に移行したからと言って、日本海総合病院だけが、とは考えていない。ポンテの役割は理解しているつもりである。今回の研修会についても、日本海総合病院だけでいいのかとケアマネ連協に問うたところ、まずは入退院支援センターとの話し合いをご希望されていたため、ケアマネ連協の考えもあると思うので、今回はこのような形となった。

（菅原） 入退院支援センターとの連携について、今回は日本海総合病院の入退院支援センターとの合同研修会ではあるが、単発で終わるのではなく、回を重ねて色々な病院を巻き込んでいければいいと考えている。入り口として8月1日の合同研修会がうまくいければと思う。

(佐藤由枝) ヘルスケアネットから何かあるか。

(田中) ヘルスケアネットでも同じような苦勞・悩みがあり同様の課題が挙げられている。ヘルスケアネットでは会員団体がほとんどだが病院を核にした連携を進行しつつある。ポンテの活動と同じようなことをしているように思う。

(佐藤由枝) 昨年度などは、ヘルスケアネットの主催の研修会と内容が被ってしてしまうことがあったと前任より伺っているので、ヘルスケアネットと検討して研修会の内容等は考えていかなければならないと思う。ヘルスケアネット開催の研修会での対象はどうか。

(田中) 対象は拡大してもいいと思うが、現状は会員団体になる。

(佐藤由枝) 昨年の「地域包括支援センター全体会～ポンテと包括との情報交換会～」(資料 7-2 枚目)の「病院との連絡手段」として、その他で、「ちょうかいネットをもっと活用」とあげられていたが、現在ちょうかいネットの活用状況はどうか。施設で有効活用はできているのか。

(菅原) うちの施設では利用していない。利用している施設は、前からずっと利用していて、新規に利用する人があまりいない印象。新規に入る方法も分からないようだ。

(大内) 母体が本間病院にあり、カルテを見ることができるため、カルテから情報を収集している。

(碓谷) ちょうかいネットで早い段階で本人の状態が把握できたとしても、そこからやり取りするのは家族や本人なので、それだけでは不十分である。そこから先が大切。

(佐藤由枝) 急性期の病院では、退院調整の迅速な対応が容易ではないと思うが。

(碓谷) 迅速な対応ということでは、日本海総合病院は入退院支援センターに電話連絡をしても担当者と繋がりにくいですが、他病院は担当者との連絡が容易である。

(佐藤由枝) 今回の合同研修会で、入退院支援センターの看護師が出席するので、その点についても改善につながれば良いと思う。

(菅原) 双方の役割をお互い理解してから始まると思う。病院側の事情を理解して、何ができるのかやっついていかないと成り立たないと思う。

(碓谷) 以前、入退院支援センターと意見交換会をした際、連携というよりケアマネジャーからの要望の方が強かったと感じた。

(佐藤由枝) それぞれの意見は重要だと考えるが、双方で対話促進をしていかなければならない。8月の研修会は活発な意見交換ができ、一つでも改善につながる話し合いができればと思う。

4 閉会

第2回在宅医療・介護連携推進業務運営会議 出席者名簿

(敬称省略)

所 属	氏 名
庄内町 保健福祉課 高齢者支援係	佐藤 敦史
酒田市地域包括支援センター なかまち	大内 剛
酒田市地域包括支援センター あけぼの	碓谷 真弓
酒田市ケアマネジャー連絡協議会 (小規模多機能型居宅介護施設 さとわ下安町)	菅原 航
酒田市ケアマネジャー連絡協議会 (居宅介護支援事業所檜の木)	梅津 眞樹
酒田市 高齢者支援課 地域包括支援係	岡田 夏子
酒田市 高齢者支援課 地域包括支援係	佐藤 元
地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネット	田中 愛久
地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネット	矢野 剛
在宅医療・介護連携支援室 ポンテ	佐藤 由枝
在宅医療・介護連携支援室 ポンテ	佐藤 美樹